

平成 25 年度活動報告 -平成 26 年 04 月 25 日(金)-

庶務担当 齊藤雅一

1. 総会関係

平成 25 年度総会を平成 25 年 04 月 19 日(金)、株式会社堀場製作所 2 階会議室にて 17:30～18:30 の時間帯で開催した。来賓として日臨技会長の宮島喜文様、私立医大技師長会会長の望月照次様にご挨拶をお願いした。議長は日本大学医学部附属板橋病院の山舘周恒技師長をお願いした。参加人数は 22 名であった。

2. 研修会関係

学術講演会を平成 25 年 04 月 19 日(金) 総会終了後に 18:30～19:30 の時間帯で開催した。「血清心筋マーカーCK-MB の蛋白量測定」と題して和光純薬工業株式会社の高橋かおり氏に講演をお願いした。汎用自動分析装置対応のラテックス比濁法試薬であり、興味深い内容であった。参加人数は 30 名であった。

第 31 回学術研修会を平成 25 年 11 月 9 日(土)、株式会社堀場製作所 2 階会議室にて 10:00～17:00 の時間帯で開催した。メインテーマは『「私立医科大学病院」発！-臨床検査の付加価値を見出す-』で、午前は各大学病院の検査技師による 9 題の一般演題発表を実施した。ランチョンセミナーは「質量分析計と感染制御支援システムを活用した病院感染対策と経済効果」と題してシスメックス株式会社をお願いした。質量分析計の大きな特徴として、従来法と比較して、超迅速・高精度に検査が実施可能ということであった。午後のシンポジウムは「臨床検査の付加価値」と題して各大学病院におけるチーム医療、臨床支援に関するアンケート調査報告をはじめ、生理機能検査室のチーム医療への参画、細菌検査における感染制御への発言、病棟支援への取り組み、病理部における検診結果の説明とダブルライセンスによる対応など特徴のある活動内容が紹介され参考になる内容ばかりで有意義なシンポジウムであった。

次に、15:30～16:30 の時間帯で岩手医科大学医学部臨床検査医学講座教授である諏訪部章先生に「臨床検査技師とチーム医療 ～最近の動向と将来展望～」と題して特別講演をお願いした。チーム医療への検査技師の関わりかたの最新情報として検査説明、相談のできる技師育成 WG が立ち上がっていることなどの説明があった。参加人数は 93 名であった。

3. 会誌『KAMERADEN』の発行

『KAMERADEN』は 57 号(第 31 回学術研修会抄録集との合併号)を平成 25 年 10 月に、58 号を平成 26 年 03 月に発行した。

4. 会議関係

会議は理事会を 8 回、編集委員会を 2 回開催した。なお、詳細はカメラデン掲載の議事録を参照して頂きたい。

5. その他

経費節約としてカメラデン 57 号と学術研修会抄録集を合併号とした。また、会員の意見を取り入れて技師会の向上を図るため、ホームページを作成し、活動内容を表示した。更に、学術研修会の一般演題発表において優秀演題賞を設けるとともに、ランチョンセミナーを実施し、多くの検査技師が参加出来るよう工夫した。